

森林経営管理制度での判断を支援する

『管理優先度の高い民有人工林の抽出と管理のための手引書』

森林経営管理制度の下で、市町村は制度対象の選定や施業の優先順位など、多くの判断を求められます。しかし、対象森林は広域に分布し所有者も多く、円滑な判断と実施は容易ではありません。

本研究では、判断を支援する技術と方法を開発し（表1）、

『管理優先度の高い民有人工林の抽出と管理のための手引書』としてまとめました。これらの技術と方法を利用する市町村と、利用と実装を支援する関係者を主な対象とした、二部構成となっています（裏面参照）。

地域における適切な森林経営管理の推進に役立てていただければ幸いです。

表1 制度上の判断とそれを支援する研究成果

制度上の判断	それを支援する研究成果
管理の必要性の把握	管理不足人工林の抽出 ※
林業継続の検討	斜面崩壊危険度評価
緊急性の判断	風害リスク評価
施業方法の選択	管理優先度 × 施業指針

※ 「管理不足人工林の抽出」の例を図1に示す。

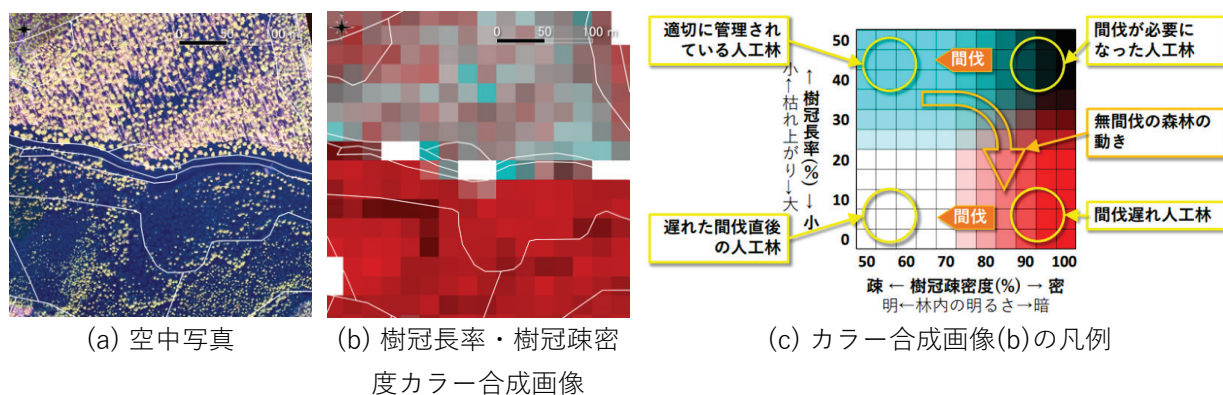


図1 樹冠疎密度と平均樹冠長率の合成による人工林管理状態の表示

市町村は独りではない

制度をより円滑に運用するためには、関係者が役割を分担し、市町村が判断と合意形成に集中できる体制を整えることが鍵となります。本研究では、その体制を、市町村を頂点とする三層構造として整理しました（図2）。

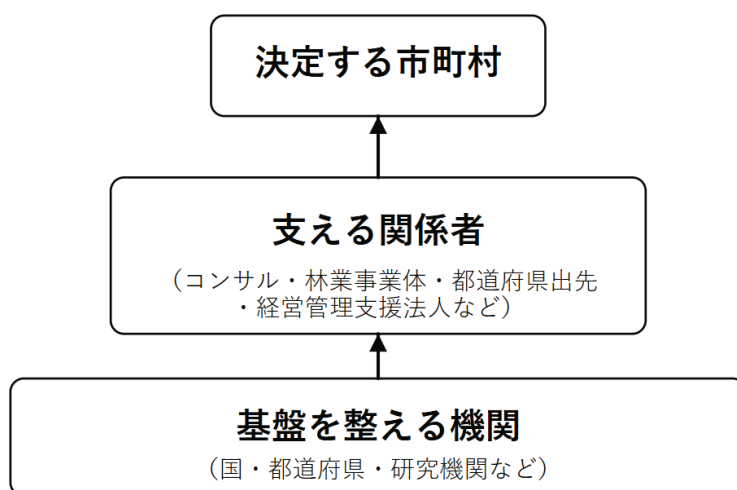


図2 森林経営管理制度における役割分担（三層構造）

本研究を担った研究機関等は、三層構造の第3層に位置づけられます。その成果を取りまとめた『管理優先度の高い民有人工林の抽出と管理のための手引書』は、第1層の市町村向け「概要編」と第2層の関係者向け「技術編」の二部構成です。市町村が関係者に実装を発注する際の仕様書例も添付されています。

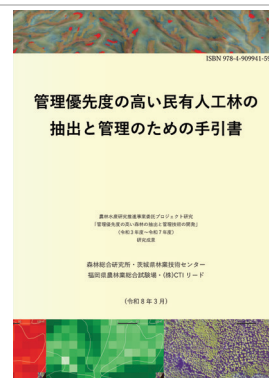
詳しくは、本研究ホームページと手引書をご覧ください。

本研究ホームページ

https://www.ffpri.go.jp/labs/hmpforest_hp/index.html

管理優先度の高い民有人工林の抽出と管理のための手引書

<https://www.ffpri.go.jp/pubs/chukiseika/documents/5th-chuukiseika37.pdf>



森林総合研究所「管理優先度」プロジェクト問合せ窓口 hmpforest-event@ml.affrc.go.jp

農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究

「管理優先度の高い森林の抽出と管理技術の開発」（令和3～7年度）

森林総合研究所・茨城県林業技術センター・福岡県農林業総合試験場・(株)CTI リード